

公表

事業所における自己評価総括表～放課後等デイサービス～

○事業所名	グラン・シード東橋ルーム		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 10日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各児童のストレンクス(強味)を引き出すことを目的とした様々な活動を取り入れている。	5領域の視点の観点から、スポーツ療育(サッカー等)を通じた集団への関わり方、モラル・マナー、思いやりの体感、自主性尊重を意識している。また、外部講師の音楽療育による精神的安定やコミュニケーション能力向上に取り組んでいる。	活動を企画するにあたり、目的を明確化して取り組んでいるが、参加する職員全員で活動計画書の内容を理解して、作業分担含めスムーズに進められるよう取り組んでいる。また、活動後振り返りを行うことで次回の活動に繋げられるよう努めている。
2	専門的な知識をもつ職員による各児童個別の支援体制があること。	上記の活動に取り組むにあたり、各児童のニーズに応じて各児童の強みを伸ばせるよう専門的な知識を持つ職員が専門的支援計画を策定している。また、各児童が適切な活動ができかつ自主的に参加できるよう考慮している。	専門的職員が策定した計画内容については、携わる職員が理解し情報共有できるようにすることで、実際の活動時に職員間で活動方針が違わぬように意識して取り組んでいる。
3	スポーツ療育(サッカー等)により地域社会への参加(インクルージョン)を実現	スポーツ療育(サッカー等)を通じて、サッカー大会に参加することで、地域社会への参加と児童のモチベーション向上を実現している。また、保護者の方にも参加して頂き保護者間の交流の場も提供している。	サッカー大会を通じて、各児童が地域社会に参加できチーム内の他の児童との信頼関係が構築されるとともに他のチームの児童との交流機会が持っている。また、保護者の方との間にもより深い信頼関係を築くことができ、より質の高い療育提供に結び付けられている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	自立支援協議会、地域関係機関との連携があまりできていない	専門的な知識習得や人的交流の為、関連機関との連携は必要であると認識しているが、日々の療育対応に手一杯のため時間をとる余裕がない状況。	研修会等に関しては、会場参加のパターンではなく動画配信等他の手段を利用したものであれば、職員も時間を作り参加できるので、このような提案を関係機関に行っていきたい。
2	ペアレントトレーニング等保護者との療育の連携	保護者の方々には、様々な生活背景があり就労や乳幼児の育児介護などで忙しいのではと考え、ペアレントトレーニング研修等の開催になってしまっている。連絡ノートや送迎時や面談時にアドバイスとして関わり方等お話ししているが、ペアレントトレーニングという認識をもってもらえていない為、自己評価表での評価が低い。	保護者へのペアレントトレーニングの理解を促すお便りの作成や実施方法を明確にした周知を行う。様々な方法を試行し最適な実施方法を模索していく。
3	より質の高いサービス提供に結び付けられる職員の補充	より専門的な療育提供の為、理学療法士等の採用に力を入れており、専門職員の補充は少しずつできているが、まだ不足している状況にある。	各種媒体を通じての求人対応は行っているが、容易に人材を見つけることはできない為、継続的に求人活動を行い、言語聴覚士等含め専門的職員確保を目指して取り組んでいく。